

あるなしの風に吹かれて落葉飛ぶ

霜月十日 日は照りながら

(R)

## 冬支度・・・

「葉山に三度雪が降ると大石田にも雪が降る」「黒滝の向川寺の大イチョウの葉が落ちると、根雪が降る」「鳥海山が見えると四日後に天気が変わる」と大石田には天気まつわる言い伝えがあります。また、「カメシ(屁つたれ虫)の多い年は、大雪になる」「カマキリの卵の、産みつけられた位置が高いと大雪」といった民間大雪予報があります。

そがき(雪囲い)が終わり外回りも片付くと、家の中では炬燵こたつが登場します。昔は衣類も四七枚の重ね着は当たり前。どんぶぐ(綿入れ絆纏)は暖かな部屋着で、自分の好きな柄を選んで母から縫ってもらいました。木綿糸をほどく時や、真綿をかける時は手伝いました。大切な冬の長靴は学校に持って行って、名前を書いてもらいました。今宿から来てくださった書き手の方のペン先から金や銀の色で自分の名前が飛び出し、花や鳥のイラストが付けられます。自分だけの贅沢でした。

最上川の渡船で学校に通えなくなる冬季間、遠距離通学の中学生は全員寄宿舎に暮らしました。初めての共同生活は悲喜こもごも。「起床！」に始まり「消灯！」に終わる一日、楽しくも貴重な経験でした。

雪ゆき起こし(雪下ろし)の雷が鳴っています。初雪はもうすぐです。

・・・

### 山茶始めて開く(つばきはじめてひらく)

11月7日～11日頃

こよみの上では立冬。山々の紅葉(もみじ)は海老茶から赤茶色に変わり、落葉の舞う季節です。道路は吹き寄せが集まっています。家の軒下には、大根、干し柿の玉のれんがあちらこちらで見かけます。冬を迎える準備で忙しくまわっています。外での仕事が多いこの時期の晴れた日は、とても貴重な日です。(き)

### 地始めて凍る(ちはじめてこおる)

11月12日～16日頃

車に乗ろうとドアを開けると目の前にクモがいた。注意深く見ると体から糸を出し、その糸は田圃の切り株からのびている。一つの株に一匹のクモがのっている。風が吹くとクモは風にのり空に飛んでいく。陽光をうけたクモの糸が光の筋をえがく。それは初めて見る雪むかえの光景だった。(海藤忠男)

### 金盞香し(きんせんこうばし)

11月17日～21日頃

垣根のドウタンはきれいに紅葉しました。20日は「えびす講」でこいの甘煮が習慣。早速注文しご馳走になる。以前は寒い雪の中、魚屋さんが町内を廻りお母さん達が集まって品定めをし切ってもらったものでした。醤油・酒・砂糖で味をつけて、ご馳走でした。残った汁の大根煮も次の日のご馳走でした。(M)



2014.11.8 山茶花(さざんか)

読書会だより⑦

## 大石田の立冬のころ

七十二候より

大石田町立図書館

冷たいにわか雨が降ったり、時々太陽が出て晴れてみたりして、気まぐれな空模様が続きます。みなさま、風邪などひいていらっしやいませんか?この頃、久しぶりに夕焼けを見ました。「朝焼けは雨、夕焼けは次の日晴れる」といいますが、本当ですね。